

内部統制対応サービス

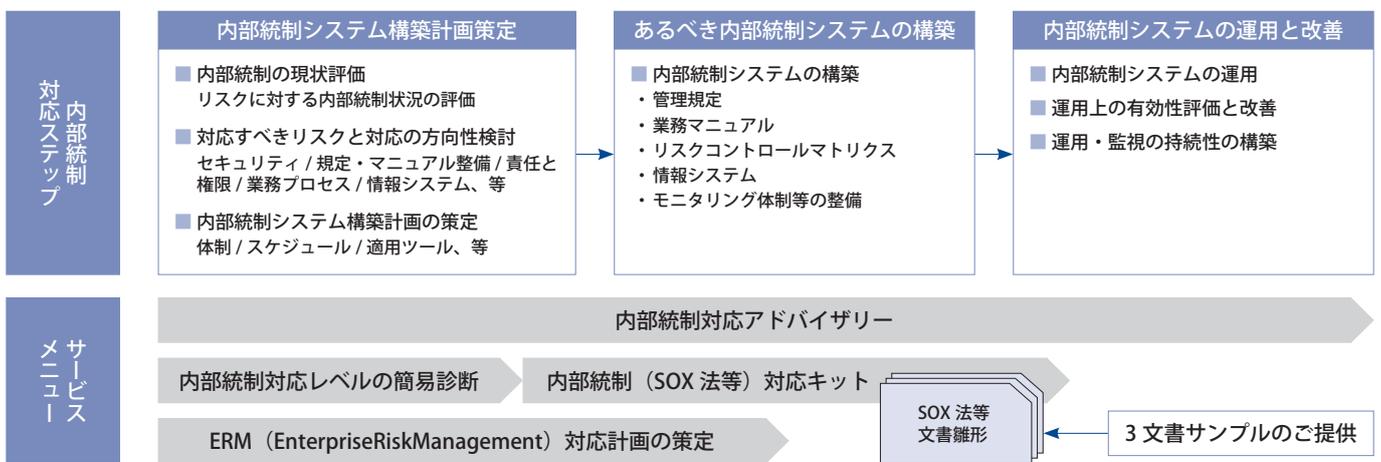
内部統制対応への準備は整っていますか？

2008年4月以降より、日本版SOX法が施行され、内部統制はより重要なテーマとなってまいりましたが、

- この機会に内部統制全般を抜本的に見直すべきか？
- 可能な限り迅速・小さな投資で当面必要とされる内部統制対応を行うことを優先すべきか？
- 事業環境の変化に応じて要求レベルがますます上がっていく内部統制の要件を満たすために、最低限、取り組むべき課題と投資規模はどの程度なのだろうか？

・・・対応すべき新しい法律の施行は、企業が自らを顧み、次の発展を目指すための基礎となり得ます。「よりよい会社」にするために主体性を発揮して法律および社会的責任への対応に取り組む、このことが「本来的な意味での内部統制への準備」といえます。

内部統制対応ステップとCDI-Sの提供サービス



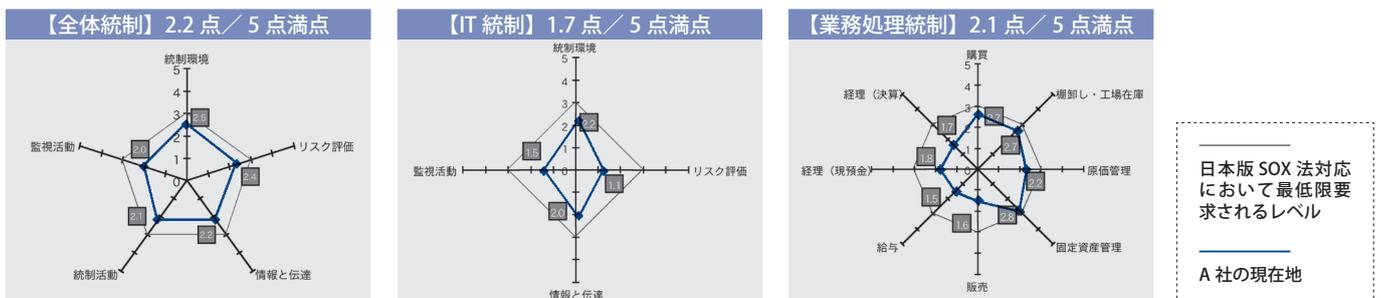
アドバイザーの内容

- 「計画フェーズ」における主要支援項目
 - ・ 内部統制の範囲検討と必要作業項目の識別
 - ・ 文書化プロジェクトの推進体制・教育方法
 - ・ 文書化ツール/文書サンプルのご紹介
 - ・ 「全体統制」「IT統制」作業の進め方
 - ・ 文書化作業請負業者のご紹介
 - ・ 監査法人との打ち合わせ
 - ・ 経営陣への理解促進
- 「文書化フェーズ」における主要支援項目
 - ・ 進捗管理、文書品質管理（レビュー）
 - ・ （文書品質に関する）監査法人との打ち合わせ
 - ・ 評価/改善フェーズの推進体制/教育方法
- 「評価・改善フェーズ」における主要支援項目
 - ・ 進捗管理、評価品質管理（レビュー）
 - ・ （評価品質に関する）監査法人との打ち合わせ
 - ・ 評価及び改善作業の進め方
 - ・ 「評価作業の効率化」対応

まずは簡易診断を！

2週間で、あるべき内部統制への対応レベルを診断します。

診断結果（SOX法対応における診断例）



日本版SOX法への対応レベルに到達しておらず、早急な対応が必要である。

- ・ 全体統制 : 従業員への周知徹底と、統制活動の評価・モニタリング体制の確立が必要
- ・ IT統制 : 特にセキュリティと、災害による業務継続リスクに対する対策の強化が必要
- ・ 業務処理統制 : 工場に比べて営業、管理部門の業務文書化が大きく遅れている。→特にアウトソース先（給与）の統制環境整備が喫緊の課題